

農山漁村地域整備計画に係る事前評価

計画の名称: みえの農業生産力向上計画 ～意欲と経営感覚あふれる農業経営体の育成～

計画策定主体: 三重県

評価項目	評価の視点	判定
目標の妥当性	関連する計画との整合性が図られているか	<p>県の総合計画である「みえ県民カビジョン」において、「農山漁村の振興」として生産性の向上や安全・安心な農山漁村づくりをすすめ、「農業の振興」として農業生産力の強化を図るため、農業農村整備事業を取組むこととしており、整合が図られている。</p>
	地域の課題に適切に対応する目標となっているか	<p>水田農業が将来も持続的に発展していくためには、農業農村を活性化するための集落機能の充実・向上と併せて、集落営農を基本とした水稲・麦・大豆作を推進していくことが重要である。</p> <p>このため、意欲と経営感覚あふれる農業経営体を育成し、水田農業の構造改革を図ること、有用な農地の確保と、農業を支える農村の活性化を目標としており、地域の課題に適切に対応している。</p>
整備計画の効果・効率性	整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	<p>営農労力の削減が図られた生産性の高い農地面積、安全性の向上が図られた農地面積、農業を支える農村の生活環境の改善地区数を定量的指標としている。</p> <p>意欲と経営感覚にあふれる農業経営体を育成するとともに、環境と調和した効率的で高度な生産基盤の整備を進め、農業生産力の向上をはかる整備計画との整合が図られている。</p>
	事後評価ができる適切な指標となっているか	<p>県が行う定期調査により確認できる指標となっている。</p>
	構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	<p>水田農業が今後も持続的に発展していくためには、意欲と経営感覚にあふれる農業経営体を育成することが不可欠であり、営農の省力化や農業を支える農村の活性化が必要である。</p> <p>このため、本計画の指標として、農業経営体数、営農労力の削減が図られた生産性の高い農地面積、安全性の向上が図られた農地面積、農業を支える農村の生活環境の改善地区数を定量的指標として、その効果を評価することは適切である。</p>
整備計画の実現可能性	円滑な事業執行の環境が整っているか	<p>各事業の実施計画及び各市町との連携等実施体制が整っている。</p>
	地元の機運が醸成されているか	<p>事業実施は、地元からの申請によるものであり、その機運は醸成されている。</p>